

資料 3-4

回答の概要（速報）

【共通】

■森林の役割や現状についてはある程度認知されている。

→ 個人：Q1, Q2、企業：Q1, Q2, Q3

■一方で、森林環境税とその用途事業についての認知度は低い。

→ 個人：Q4, Q5、企業：Q8

■森林整備の必要性や森林環境税の用途事業については、肯定的な意見が大半を占めている。 → 個人：Q3, Q6, Q7、企業：Q4, Q9, Q10

■森林環境税の継続については大多数が「継続した方がよい」と回答。

→ 個人：Q8、企業：Q11

■森林環境税を継続する場合の負担額は、現行の500円が適当との回答が最も多く、期間についてもこれまで同様とする意見が最も多い。

→ 個人：Q12, Q13、企業：Q15, Q16

【企業】

■企業による森林整備活動への参加について → 企業：Q5, Q6

・森林整備活動等に参加している法人は12%と少数。

・その一方で、半数以上が参加について「必要だと思う」と回答

【個人・企業】の個別傾向

■継続すべき既存事業

個人に比べ企業は継続すべきとする意見が少ないが、緊急間伐は個人も企業も半数以上が継続すべきと回答。 → 個人：Q10、企業：Q13

■新たに取り組むべき事業

個人、企業ともに、間伐材の利活用事業と多様な森林をつくるための事業を支持する意見が多いが、企業は県有林や市町村林などの公有林の整備を支援する事業への支持が少ない傾向。 → 個人：Q11、企業：Q14